

2023年 環境レポート

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社



FUJITSU I・NETWORK SYSTEMS LIMITED Environmental Report

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことが出来るよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。



ごあいさつ

富士通アイ・ネットワークシステムズは、南アルプス、八ヶ岳、富士山を周囲三方に望む豊かな自然に囲まれた中に位置し、1960年に現在の山梨県南アルプス市に工場を開設して以来、長年に亘るネットワーク機器製造の経験に培われた高品質なものづくりと海外を含めた他社製品をインテグレーションするサービスを通じてお客様の期待にお応えするとともに、自らもデジタルテクノロジーとデータを使った取り組みによって『変化に即応でき、環境に、人に優しいスマートなものづくり』の実現に向け進化を続けてまいりました。主力製品のひとつであるスマートメーター通信ユニットは2014年の設置開始以降各家庭の電力使用量を自動で検針する事を可能にしましたが、これから始まる次世代機では更なる性能強化によって再エネの導入拡大や省エネ・CO2排出削減など、電力システムの柔軟性を引き上げる為に必須なツールとして期待されています。環境保全、地域活動の分野では、太陽光発電、非化石燃料への切り替え、緑のカーテン、各種断熱処理など積極的に取り組み継続的な電力削減に努めるとともに、2013年から南アルプス市と協働でユネスコエコパークの緩衝地域である榎形山に『山桜の森』を整備、夜叉神峠の登山道整備についても継続して参画しております。

富士通アイ・ネットワークシステムズは、環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つとし、提供する製品・サービスと事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献してまいります。



代表取締役社長
多田 真敏

事業所の紹介

- 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
 - 所在地 : 山梨県南アルプス市有野3346
 - 設立 : 1943年10月18日 [株式会社長谷川電機製作所]
 - 従業員数 : 317名(連結:366名)(2023年4月1日現在)
- 主な事業内容
 - ネットワーク機器及び通信機器の製造
 - 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
 - お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供



環境活動／社会貢献活動

■ 2022年度の活動目標と結果報告

| 環境目標項目 | | 目標値 | 実績値 | 結果 |
|--------|--|----------------------------|-------------------------|----|
| 1 | 消費エネルギーの使用量をCO2換算で2022年度予測値の実質消費量比年7.9%削減（電力購入予測量の8%の再エネ購入を含む） ※当社の消費エネルギー：電力+重油+灯油+ガソリン+軽油+LPG | 1,963 t-CO ₂ 以下 | 1,829 t-CO ₂ | ○ |
| 2 | 社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資金、人材などを支援、および環境に関わる活動、SDGsの達成に貢献できる活動を実施する。 | 11件 以上 | 12件 | ○ |

■ 省エネ活動

- 太陽光発電（2011年10月～）
- 空調機の集中コントロールによるピーク電力のシフト（夏/冬）
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 屋根散水機（自動化）
- 建屋改修（断熱材付与）による保温効果
- 構内建屋のLED照明化（87.6%）
- 空調機の省エネ機器への更新
- 本業活動中での省エネ（設備／機械の可動率向上、省エネ性能装備品への更新等）
- 緑のカーテン（2010年～13年目）
構内2か所の建屋南面の日差しを軽減



太陽光発電（2020年：北棟に移設）



東1.5空調更新



東5空調更新

■ 再エネ購入

- 再生可能エネルギー由来の「FIT非化石証書付電力」の購入を行いました。
年間購入量は、164.4t-co2（電力使用実績の8.6%：計画は購入電力予測値の8%）とまだまだ、少量ですが、毎年4%ずつ増量し、2030年には40%を再エネにすることを目指しています。

■ 【環境／社会貢献活動】

- 協働の森「南アルプス 山桜の森」活動
2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、森の成長を助けると共に自然の大切さを学習する自然環境保全活動を行っています。
2022年度はコロナ禍のため、市との協働は控えましたが、3年ぶりに通常活動を実施、社長をはじめ楽しく活動を行いました。
・自然観察会 ・落ち葉のクラフト ・柵周りの草刈り
・柵ネットの補修とツタの除去



★南アルプス山桜の森

- 南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区
- 森全体面積：4.3ヘクタール
- ヤマザクラ、モミジ



12/3（土）『山桜の森 自然環境保全活動』
参加者：23名

- 献血への協力（2回/年）
7月と3月にポスター掲示と全社メールにて協力を募り構内での献血に協力しました。各月とも献血バス2台、2時間程度の受け入れを行いました。
- クリスマスイルミネーションの公開とイベントの開催
コロナ禍の開催でしたが、密にならないように注意し、多くの皆さんに楽しい時間を過ごしていただけたと感じています。近隣の支援学校の皆様の見学時は、帰宅時間が遅くならないように就業時間内での来場手配を行いました。
- 多機能型通所事業所の方に販売実習の場を提供
事業所で製造したパンを週1回、食堂で販売しています。



【献血】 7/7（木）：400ml x 20名
3/14（火）：400ml x 23名



12月1日～26日：イルミネーション点灯 【289名来場】
24日（金）：お子様プレゼントのイベント開催



- エコキャップ（ペットボトルキャップ）回収活動【労働組合協働】（2010年～）
『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、『ペットボトルキャップ回収業者』を通じて、加工売却金の一部を『JCV&ユニセフ』に届けていただいています。家庭で集めたキャップを社内回収BOXと、環境施設管理部、労働組合事務所で回収を行い、従業員家族も含めた活動となっています。
- プルタブ回収活動【労働組合協働】（2022年度開始）
『車いすを送ろう！』を目的にプルタブの回収を始めました。ペットボトルキャップと同じシステムで回収を行います。送付できる量になるまで送付はできませんが、毎年3月に計量して年間の回収量を確認します。
- 緑の募金活動（2013年～）
12月の10日間を募金期間とし、部門ごとに募金箱を設置、ポスター、メール、放送を通じて全従業員へ呼びかけを行っています。集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に寄付いたしました。



回収/送付したペットボトルキャップ

★エコキャップ運動

- 提供量・・・42.0 kg (約21千個)
- CO2 抑制・・・132.3 kg-CO2
- ポリオワクチン・・・4人分

★緑の募金

- 寄付額・・・43,000円



プルタブ回収：10.66kg

- やまなしSDGs推進企業に登録
山梨県が持続可能な開発目標(SDGs)に積極的に取り組む企業や団体等を「見える化」し、県内におけるSDGsの取り組みの輪を広げるためにスタートした「やまなしSDGs登録制度」に申し込みました。2022年12月「第1期やまなしSDGs推進企業」に登録されました。
- 「YAMANASHI SDGs FORUM2023」への出展
「SDGsって何？」から「SDGsをきっかけにイノベーションを起こしたい！」まで、山梨県民でSDGsを考える1日。というイベントの中でブース出展を行いました。やまなしSDGs推進企業の一員として、IoT、AI、L5G技術を活用したスマートファクトリーの構築、女性活躍推進、環境社会貢献の展示発表を行いました。



【登録期間】
2022年12月～2025年11月



【2月9日】
開催出展ブース数：62、参加者：1,000名（シンポジウム参加者含む）

● 『第49回 信玄公祭り』への参加

10月29日メインイベントの「甲州軍団出陣」に参加しました。参加者の約半数が女性で、3年半ぶりの開催に花を添える形になりました。また、抗ウイルス・抗菌の3色ボールペンやケミカルライト（蛍光のリング）も配り、祭りを盛り上げ、地域貢献の一役を務めました。



【総勢：40名】 富士通アイ・ネットワークシステムズ
富士通、富士通Japan、富士通エフサス、富士通パーソナルズ



火の5番隊 小幡山城守虎盛

■ 【環境教育・環境啓発活動】

● 環境月間（6月）の普及活動

垂れ幕（玄関）とポスター（構内各所）の掲示、従業員の環境月間リボンの装着、環境講演会開催など、環境月間を知ってほしいと始めた活動ですが、今では環境について考える機会として発展しています。

● 環境講演会の開催

2022年度は、前年のSDGsの学習会を踏まえて、SDGs達成のためには行動を変えないとならない。行動を変えるためにはどうすれば良いか…、『SDGsと行動科学』～外来植物の防除策を例に～をテーマに学習会を開催しました。

環境だけに限らず、人(自分を含む)の行動を良い方向に変えるヒントがあったと思います。

参加者によるSDGsについてのアンケート回答では、「理解している」84%、「もっと知りたい」13%の結果となり、SDGsの浸透が伺えました。

また、内容の一部については、全社環境教育内でも活用し、学習を深めました。



【講師】 山梨県富士山科学研究所
農学博士 三ツ井 聡美 様

■ 【廃棄物削減活動】

- 分別/有価物化の推進（各職場）
- リサイクル品保管センターでの細かな分別



★主な有価物

- 半田屑/半田付きウエス
- 鉛フリー屑
- 鉄くず/線材/基板
- 廃却部品/製品/設備
- 廃ダンボール/古紙
- 捨て基板/リール梱包材(廃プラスチック)

■ 【業務改善による環境負荷の低減】

日常の良品条件をデジタルに管理することで「良いもの」だけを生産できる状態を常に作り出すことを目的にした活動により、廃棄物の削減、業務の効率化などで環境影響に貢献、高品質の製品を安定供給することで信頼も向上しました。

- 自動実装部門の設備点検や異常時のデータをデジタルに管理記録することで、紙管理の排除や、過去に発生した異常時の原因及び対応のデータ化が可能になり、設備異常に対する事前対策、異常発生時の調査時間の短縮と早期/適切な対応を実現

環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水：2022年4月6日と10月5日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

| 物質名 | 地下水基準(mg/L) | 2022年度内最大測定値 | 結果 |
|----------------|-------------|--------------|----|
| 1,1-ジクロロエチレン | 0.1以下 | 0.001未満 | ○ |
| 1,2-ジクロロエチレン | 0.04以下 | 0.001未満 | ○ |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 1以下 | 0.018 | ○ |
| トリクロロエチレン | 0.01以下 | 0.002 | ○ |
| クロロエチレン | 0.002以下 | 0.0002未満 | ○ |

★地下水モニタリング採水について

2009年に採水井戸（3か所）を設置し、土壌汚染対策法に基いた地下水基準順守のモニタリングを実施しています。山梨県、南アルプス市へ「問題なし」の結果報告を継続しています。

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2022年11月18日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

| 年 月 日 | 区分 | | 自主基準値 | 山梨県条例値 | 2022年度内最大測定値 | 結果 |
|--------|----|---|-------|--------|--------------|----|
| 11月18日 | 騒音 | 朝 | 53 | 55 | 47 | ○ |
| | | 昼 | 57 | 60 | 51 | ○ |
| | | 夕 | 53 | 55 | 45 | ○ |
| | | 夜 | 45 | 45 | 44 | ○ |
| | 振動 | 昼 | 55 | 60 | 30未満 | ○ |
| | | 夜 | 50 | 55 | 30未満 | ○ |

★騒音、振動の測定について

構内6か所にて、騒音規制法、振動規制法の山梨県条例に基づき、測定を実施しています。学校が隣接しているため、自主基準値も設定しています。

■ フロン排出抑制法の対応

- 対象機器：空調室内機・室外機、製造設備、食堂設備等の内、フロンを使用しているもの。（家電リサイクル品は除く）
- 簡易点検／定期点検：1台ごとに点検時期を越えることなく実施し、問題の無いことを確認しています。

| 点検種類 | 点検の時期 | 実施年月日 | 点検数（台） | 結果 |
|-----------------------|---------|---------------------|--------|----|
| 簡易点検 1回目 | 3か月毎に1回 | 2022年 4月11日～6月14日 | 369 | ○ |
| 簡易点検 2回目 | | 2022年 7月7日～9月15日 | 375 | ○ |
| 簡易点検 3回目 | | 2022年 10月19日～12月12日 | 378 | ○ |
| 簡易点検 4回目 | | 2023年 1月23日～3月15日 | 384 | ○ |
| 定期点検 対象：50kw以上の空調機 | 3年毎に1回 | 2022年9月～10月 | 239 | ○ |



環境方針

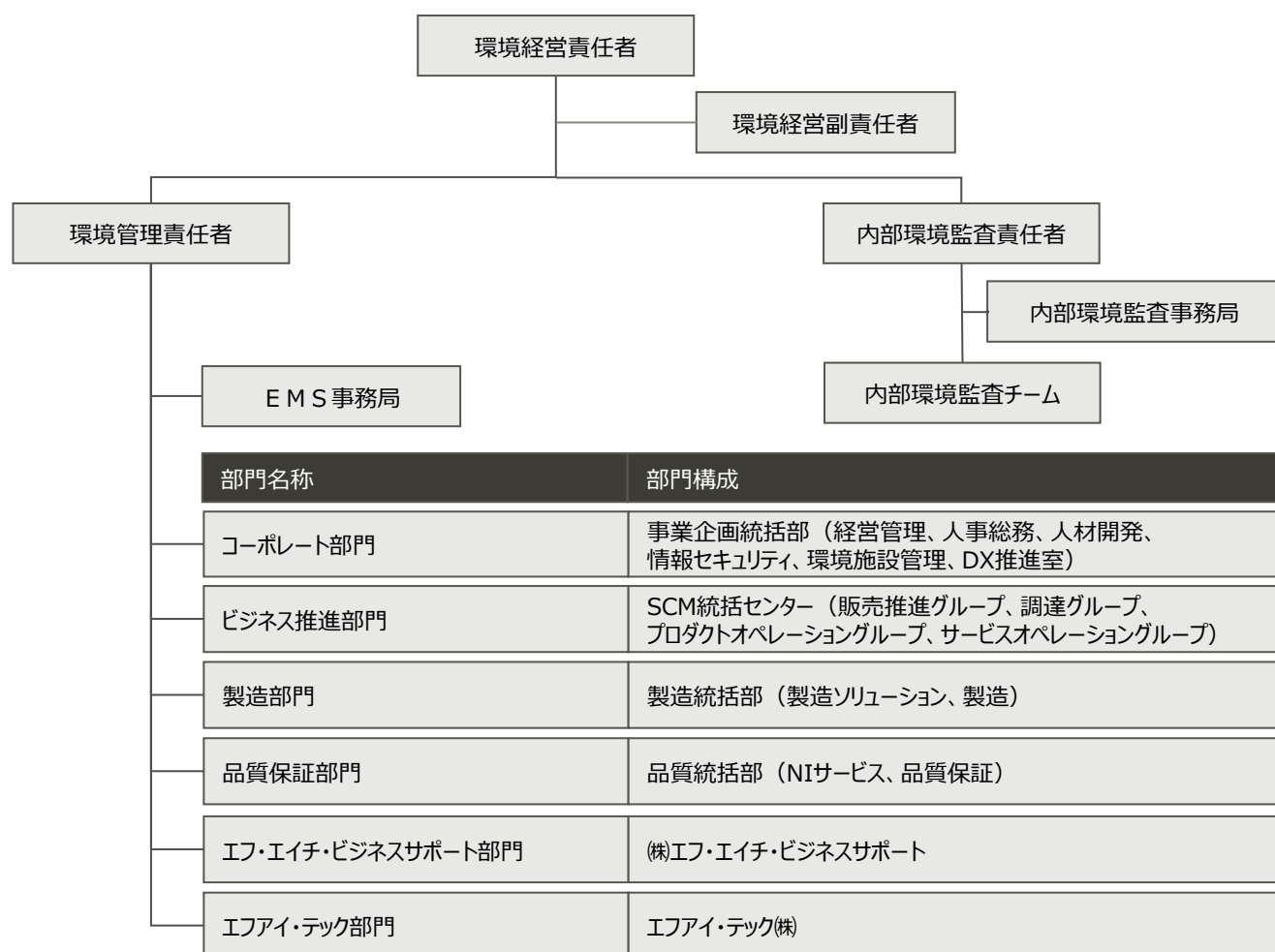
当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

- 1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
- 2. ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
- 3. エネルギー消費CO2排出量の削減に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。
- 4. 地域に根差した企業として社会への貢献活動に参加するとともに、環境啓発活動を推進します。
- 5. 環境行動計画を具体的に推進するため環境目標(KPI)を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組み、および見直しを継続的に行います。
- 6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は3社、派遣を含む409名（2023.4.1時点）となっており、活動体制は下図の通りです



環境負荷データ

使用量 (INPUT)

- 電力 : 3,366Mwh
- A重油 : 1.2KL
- 灯油 : 0.8KL
- ガソリン : 0.7KL
- 軽油 : 0.8KL
- LPG : 22.1t

※電力：再エネ購入量はマイナスしていません

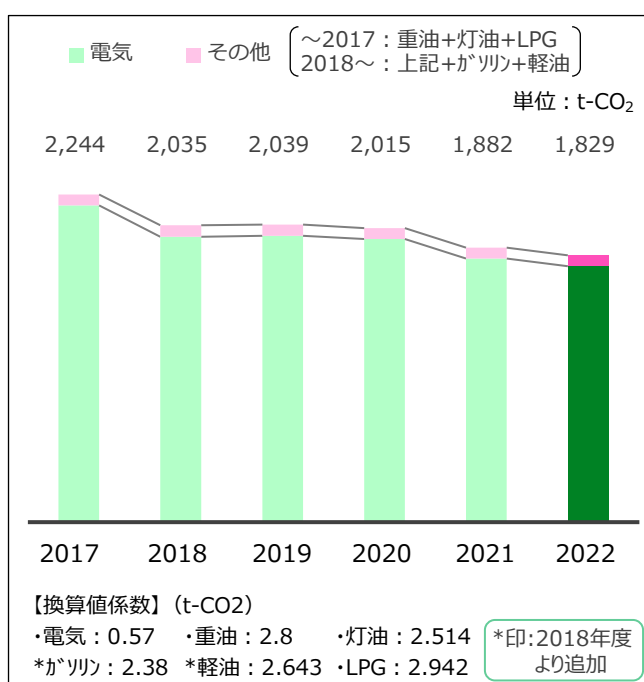
排出量 (OUTPUT)

- CO2 : 1,829 t-CO2
- 廃棄物 : 93 t

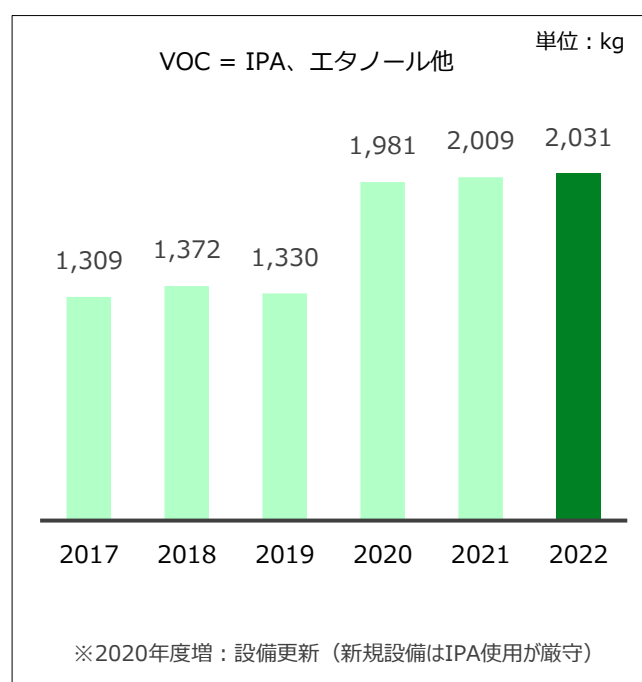
※CO2：再エネ購入量（164t-co2）マイナス済み

環境負荷データの経年推移（主要な取り組み事例）

■ CO2排出量



■ 揮発性有機化合物 (VOC) の購入量



★ 再エネ購入（2021年度より開始）

- 164.4t-co2を購入（2022年度）

★ 省エネ対策

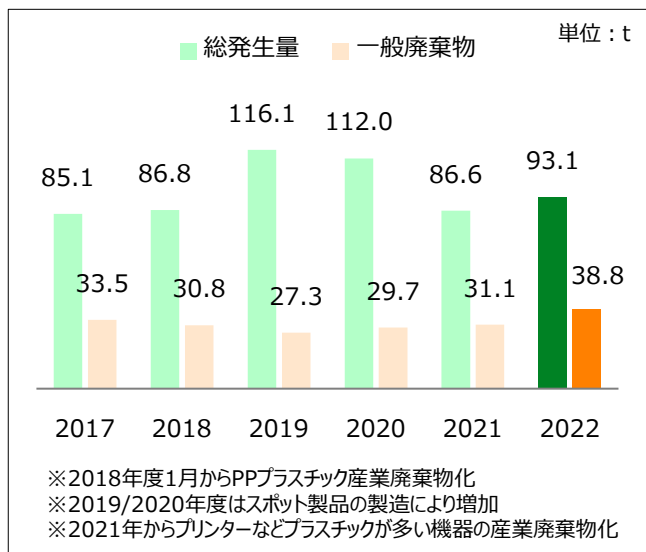
- 太陽光発電
- 設備更新時の省エネ機器への切替
- 建屋改修、遮光シートの設置 他

※詳細は2ページ参照

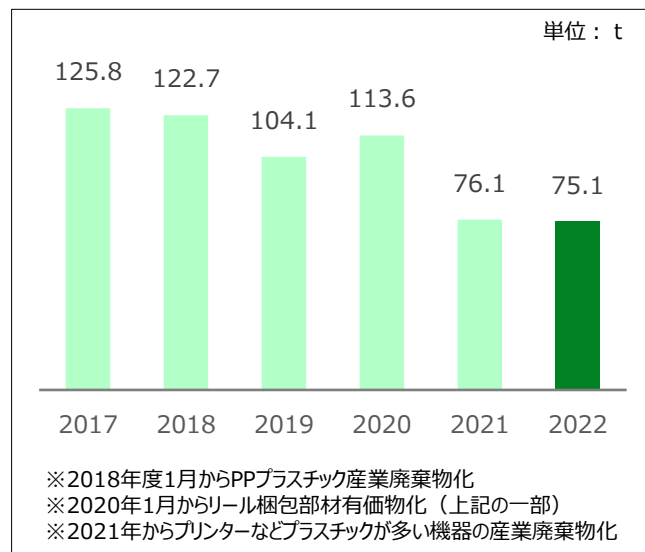
★ VOC削減の取り組み

- IPA使用管理表の作成
⇒異常値早期把握による改善推進
- かんばん方式での購入量管理
- IPAからHA2789への切替の推進

■ 廃棄物



■ 有価物



★ 廃棄物削減への活動

- 分別の推進を基本の活動としています。
- 主な有価物については5ページをご参照ください。



お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部

〒400-0226 山梨県南アルプス市有野3346
 TEL : 055-285-0383 FAX : 055-285-0314



発行責任者 多田 真敏

編集責任者 金丸 昇

発行年月日 2023年 5月 31日

記載事項対象期間 2022年4月～2023年3月

報告URL : <http://www.fujitsu.com/jp/finet/>